

災害復旧や冠水防止への補正予算が可決

高梁川へ橋脚3本を建設する清音神在本線の工事契約も可決

10月臨時市議会が10月4日の1日のみの会期で開かれ、左ページでお知らせしている議長・副議長の選出や常任委員会の構成変更、一般会計の補正予算など議案2件を審議しました。

8940万円増の一般会計補正予算は原案どおり可決。9月の台風12号による大雨で被災した高梁川河川敷グラウンド(総

社大橋北側)をはじめ、市道や用水路などの復旧費用7070万円。滝の端草田本線(下倉の草田地区から下倉橋方面に抜ける付近)の冠水防止の道路改良工事のための測量設計費720万円。雪舟くんの電話予約の混雑解消に向けた予約センターのシステム増設費100万円も決まりました。

9月定例市議会は9月



被災した高梁川河川敷グラウンド

5日から21日までの17日の会期で開かれ、平成22年度決算の認定や条例の制定、補正予算などと議員提案1件の28議案が原案どおり承認や可決、同意などされました。

認定された決算は、一般会計と特別会計、公営企業会計の全11会計。条例では、暴力団の排除に関する基本理念を定めた暴力団排除条例と市内の産業の振興を図るための

清音神在本線の工事契約も可決。高梁川へ橋脚3本を建設するもので、契約金額は2億8465万5000円です。

人権擁護委員に、京野貞行さん(三輪)と丸山光雄さん(山田)を国に推薦することにも同意されました。

中小企業振興基本条例の制定が決まりました。

南溝手地内に新設予定の私立保育所の整備費助成の約1億2254万円、太陽光発電システムの設置補助金の2000万円、教育施設の耐震診断の業務委託の約6022万円、道路・河川の改良経費の5820万円、国道180号への防犯灯の設置に800万円などの一般会計補正予算も決まりました。

また、現職議員の死去による総社市議会議員補欠選挙は9月25日に告示されました。立候補は元職の山口久子さん(美袋)の1人で、無投票での当選が決まりました。任期は、残任期間の10月2日から平成25年10月1日までです。



「暴力団追放宣言都市」と書かれた懸垂幕。9月30日、総社地区建設業及び関連業者暴力団追放推進協議会から市に寄贈され、市役所の正面玄関横に掲示した。都市宣言の「暴力団追放宣言」は、平成18年3月24日制定

渡邊繁雄議長、西森頼夫副議長が就任

常任委員会・議会運営委員会の構成も変わる



渡邊繁雄議長(写真左)と西森頼夫副議長(写真右)

10月臨時市議会で、議長に渡邊繁雄議員(新本)、副議長に西森頼夫議員(種井)の就任が決まりました。議会から選出される監査委員には、塩見禎章議員(清音三因)の選任が同意されました。いずれも初の就任で、任期は平成25年10月1日までです。

各常任委員会と議会運営委員会の構成は次のとおりです。

▼総務文教委員会
【委員長】村木理英

【副委員長】根馬和子
【委員】赤澤康宏、塩見禎章、萱原潤、西森頼夫

▼厚生委員会
【委員長】大熊公平

【副委員長】小西利一
【委員】難波正吾、頓宮美津子、加藤保博、渡邊繁雄

▼産業水道委員会
【委員長】津神謙太郎
【副委員長】小西義巳、
【委員】笠原武士、荒木勝美、山口久子、丹下茂

▼建設消防委員会
【委員長】名木田正昭

【副委員長】多田英章
【委員】秋山律郎、片岡茂夫、剣持堅吉、中村吉男

▼議会運営委員会
【委員長】萱原潤
【副委員長】加藤保博
【委員】村木理英、大熊公平、津神謙太郎、名木田正昭、笠原武士、中村吉男(敬称略)

防災

災害情報

避難情報



エリアメールを配信

災害や避難などの情報をいち早く市民の皆さんに伝達する広報手段の一つとして、エリアメールの配信を10月1日から、新たに始めました。

エリアメールは、市内で受信可能なすべてのNTTドコモの携帯電話へ、市からの緊急情報をメールで送信するもの。配信される内容は、避難勧告や避難指示、土砂災害警戒情報、警戒区域情報などです。

ドコモの携帯電話の利用者は、手続きも要らず、使用料・通信料すべて無料でこのサービスを受けられます。

緊急情報の広報はこれまで同様に、広報車やホームページ、メールマガジン、回覧版チャンネルなどでも行います。

※一部対応していない機種があります。

問い合わせ 総務課行政係 (☎92-8218)